

【多発性硬化症】

多発性硬化症は近年増えてきている病気で、脳や脊髄、視神経に多発性の病巣が起きることで目が見えなくなったり、手足のまひ、しびれなどをきたす疾患です。再発を何度も繰り返すことがあり、再発を予防する薬の一つにジレニアがあります。初めてジレニアを内服するときには不整脈などの副作用が起きないか観察するために入院が必要です。当院では下記のような入院日程（最短3日）で導入することができます。毎年約5名の患者さんが新たにジレニア内服を始めています。

脳神経内科








ジレニアによる治療を受ける患者さんへ

患者さん用

お名前：

主治医：

担当看護師：

項目	月日		
	入院当日	投薬初日	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 治療の流れが理解できる。 感染徴候（発熱・感冒症状・炎症反応の上昇など）がみられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ジレニア導入を不安がなくなえる。 徐脈性不整脈がない。 体調不良時、医師・看護師に訴えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 徐脈性不整脈がない。 退院後の生活の注意点を理解できる。
治療・薬剤（点滴・内服）処置	<ul style="list-style-type: none"> 服薬中のお薬は、医師に確認してから改めて、内服を続けるかお伝えします。 	<ul style="list-style-type: none"> 内服前に心電図モニターを装着します。 朝9時にジレニアを内服します。 ジレニアは看護師がその時間までにお持ちします。 内服開始直前と、開始後6時間は1時間おきに検温を行います。 6時間後に心電図をとります。 その後は2,3時間おきに検温を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 内服後24時間で心電図モニターを外します。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血 12誘導心電図 	<ul style="list-style-type: none"> 12誘導心電図 	
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 活動に制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 内服後6時間は病棟内のみの歩行となります。 その後は活動に制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 入浴・シャワー浴ができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 入浴・シャワー浴はできません。体を拭く事は出来ます。 	<ul style="list-style-type: none"> 心電図モニターが外れたらシャワー浴ができます。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 歩いてトイレに行けます。 		
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が入院生活・病棟設備・転倒転落について説明します。 医師および薬剤師が、薬について説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> めまい・動悸・胸痛・呼吸苦・疲労感など体調不良がありましたら、すぐにお申し出ください。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回外来日の説明があります。 次回外来日は忘れずに受診してください。 38度以上の発熱や視力低下、霧がかかって見えるなどの症状がありましたら、早めに外来を受診してください。 妊娠を考えている方は医師にご相談ください。 

ご質問やご不明な点がございましたら、医師または看護師にお伝えください。予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承ください。

東邦大学医療センター 大森病院

作成日：平成28年11月11日